

二子塚行政区総合計画

将来像 「伝統と農業 !! 笑顔あふれる二子塚 !! 」



平成26年度～平成30年度

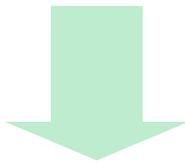
二子塚行政区

現 状

- ① 歴史的財産がある
- ② 田園風景や桜など残していき
たい豊かな風景がある

課 題

- ① 不法投棄などのごみ問題
- ② 地区や世代の交流の減少
- ③ 子どもの安全の確保



二子塚行政区の将来像

伝統と農業 !! **笑顔** あふれる二子塚 !!

二子塚行政区のスローガン

来て！ 見て！ 感じて！ 二子塚
元気な声をいつまでも

具体的な取り組み

基本目標1「環境美化」

取り組み	担当	スケジュール
① 花植え	子ども会 老人クラブ 地区役員	4月(クリーンアップの際)
② ごみ拾い	地区全員	年2回 クリーンアップと9月頃
③ 不法投棄対策 (看板・とりん設置など)	子ども会 地区役員	7月(熊野講の際)

基本目標2「子どもたちの集まる場所づくり(地区の交流)」

取り組み	担当	スケジュール
① 各地区の遊具の整備	行政に要望	~H30
② グラウンドの整備	行政に要望	~H30

基本目標3「通学路の安全」

取り組み	担当	スケジュール
① 通学路の街灯設置	行政に要望	~H30

資料編

地名の起源(平成8年4月20日発行「二子塚史」より)

二つの塚を思わせるような地名は、その昔双子塚と書かれていた。現在も南北に縦走する県道(棚倉矢吹線)を挟んで、東の丘陵地と西の丘陵地が昔のままと思わせる姿で残っていて、東側の丘陵地には東塚という地名があり、西側には上台山・天王山という丘陵地がある。

この二子塚は二つでなく一つの前方後円墳であるともいわれている。古墳は墓であるが高く土を盛り上げてつくる塚墓、または横に穴を穿ってつくる崖墓(横穴墓)とがある。

このような墓は当時の豪族のものであり、この地方では、大体五世紀頃から七世紀半頃につくられたと考えられる。

二子塚地内には東塚・大塚・上台山・天王山の遺跡が古墳として知られていて、上台山古墳遺跡からは鉄刀が発見されたと言われている。

しめ縄作りとどんど焼き(山田直吉氏寄稿)

平成三年頃からと思いますがお正月のしめ縄は家紋と同じくいろいろな形がありました。老人会で古老が簡単な誰れにも作れるようにと決められ、それ以来十二月二十八日は二子塚老人会しめ縄作りと決めて作って来ました。藁は特別作りやすい稲作の家に協力してもらい、役員が材料を準備して九時前に藁打ちをすませ九時からしめ縄作りを始めました。十八人から集り当初は藁細工のベテランばかりでしたので部落全戸と隠居分も考えて百二十戸分はたちまちに作られ各家庭に老人会の役員が配布します。昼はそば打ちの上手な方がそばを作り会食し一年の思い出を語り合って解散。色々な材料は老人会々費でまかないます。

一月七日小学校冬休みの最後の日なので子供会の協力を得て各戸よりの松送り手伝いをしてもらいます。各家庭から三百円の心づけをいただくことにして集めます。集まったお金は子供会にしてお年玉として分け与え一部は老人会へそして老人と共にお楽しみ会にまざります。集めたしめ縄は「どんど焼き」で焼却します。どんど焼きのどんど小屋は旧年中に老人会でカヤを刈り柱材を切って作ります。どんど焼きは子供会の協力を得て冬休みのおわり一月七日朝集めてまわり十時までにごんど焼きの会場に納めます。午前十時三十分以降に点火します。消防署に事前に届け許可をもらって部落の消防の方々にもご苦労をお願いして手伝ってもらいます。どんど焼きの時は孫を連れて来た(孫)達の会話がありここに集まることによって郷土の昔からの生活を理解する事が出来る子どもなりに郷土の行事に参加することによって郷土愛を育みたいと思ひ実践続けてきました。

熊野講について(山田直吉氏寄稿)

平成の初め頃からか、青年も少なく昔の様に青年会が主体で熊野講を継続するのが困難になり、鋏柄会で部落行事として運営することになり、今迄通り土用の丑の日に行つて来ました。

三部落の組合長はじめ役員が準備して当日はふれあいセンターに集まり餅つき器で餅をつき、一方男の方は神社の境内に準備して杵で餅つきをします。

本来ならば千本杵でつくのですが青年が少ないので役員の若手が数人ではじめは杵でつき後数人の若手が千本杵でつき上げます。半分くらいはオソナイに半分は千本杵で餅を支え三部をねり歩き三部落のはずれには縄がはられてあり、そこまでまわり部落に悪病が入らぬよういつたのです。

部落ねり歩き中には部落民は千本杵に支えられている餅をちぎりとりいただきます。土用餅は腹わたになると云われ健康を願うわけです。昔は神社に戻る頃はなくなるくらいになったそうです。

最近土用の丑の日でも作業をしていたり勤めていたりするのでふれあいセンターでついた餅をまとめて各家庭にくばります。

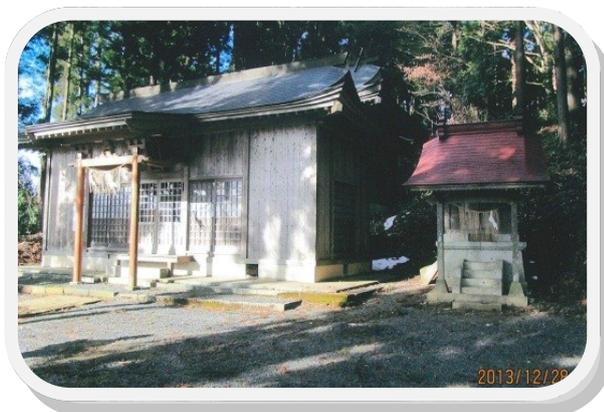
昔は土用の丑の日は神ごとで一日ゆっくり休養をとる日になっていました。

神社では参拝にこられた方に餅をふるまい老人会には招待され参拝して神社で御神酒をいただきます。

五穀豊穰を願ひ悪病(はやり病)にかからないで健康な生活が出来るようにと願う行事だったようです。

二子塚行政区の地域資源(お宝)

文化財



御霊神社



法性寺



法性寺跡



天王山古墳



子育て地蔵

自然



田園風景



畑



桜



呉羽池

行事

どんと焼き



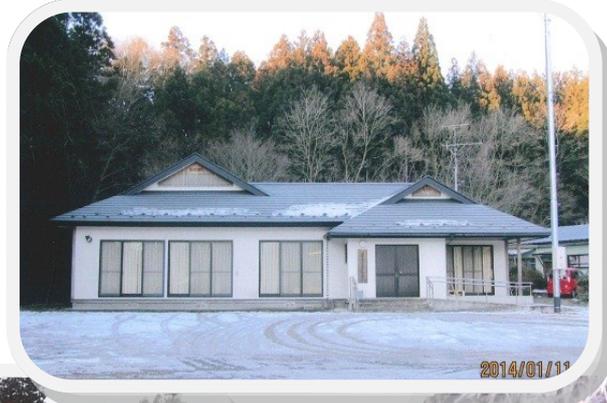
花見



熊野講

その他

ふれあいセンター



二子塚グラウンド



こじき清水

二子塚行政区